

1	審議会名	第13回 塩田地域協議会
2	日時	平成24年3月21日 午後1時30分から午後5時06分まで
3	会場	上田市塩田公民館大ホール
4	出席者	伊藤委員、大口委員、岡村委員、甲田委員、小林委員、関田委員、竹下委員、中村委員、西沢委員、丸山委員、南委員、峯村委員、山極委員、若林委員
5	市側出席者	神林塩田地域自治センター長、海瀬地域振興政策幹、志摩センター長補佐
6	公開・非公開等の別	公開
7	傍聴者	1人 記者 0人
8	会議概要作成年月日	平成24年3月26日

## 協議事項等

## 1 開 会（神林自治センター長）

## 2 地域協議会長あいさつ

協議会として、6年が経過して少しずつではあるが成果が出てきている。この間の委員の気持ちを意見書にまとめたい。意見書の手交式には、大勢の参加をお願いしたい。本日は、わがまち魅力アップ応援事業の審査の前に、交流・文化施設の概要を協議会委員に理解を深めてもらうため、CGを用意してもらったので見ていただきます。

交流・文化施設の概要 CG の放映

## 3 協議

## (1) 平成24年度わがまち魅力アップ応援事業審査

## 審査結果

- ・ 幼児、子どもたちが安心して遊べる場所作り（学海北自治会）  
条件（要：市との協議、管理体制の確認）付 採択
- ・ 野倉資料館を伝統文化継承の場として、地域資源を活かした活力ある里に（野倉自治会）  
採択（これを機に自治会連合会へ加入を希望する）
- ・ すぐりの村づくりプロジェクト・ステージ すぐり栽培の定着とすぐりジャムの製品化に向けて（塩田・すぐりの村づくりの会）  
採択
- ・ 野倉街道「里山を一周する道」大湯地区ふれあい道路（別所温泉 大湯会）  
条件（他地域との協議、補助金の有効活用）付 採択
- ・ 別所温泉 ヘルスアップ事業（うえだミックススポーツクラブ）  
採択

## (2) 意見書について

## ア 地域公共交通の充実について（事務局より原案の説明）

上田市では、安心して快適な市民生活を送るうえで必要不可欠な公共交通の維持確保に向けまして、「公共交通活性化プラン」に基づき、本年度から国の新たな補助制度である「地域公共交通確保維持改善事業」を活用して、路線バスや循環バスの維持確保と別所線再生のための安全対策支援を実施していただいているところであります。

しかしながら、依然として公共交通の利用者は減少しており、危機的な状況に直面しております。

市では新たな施策として、特に都市機能として不可欠なバス路線の維持確保及び活性化を

目指して、新たな視点と逆転の発想を持って多様な利用目的や効果を生み出す「路線バスの運賃低減策」の実現に取組まれると聞いております。

塩田地域では、安心して暮らせるまちづくりに不可欠な公共交通ネットワークの維持確保に向けて、「乗って残す」「乗らなければ無くなる」をキーワードに引き続き積極的に利用する運動を展開してまいりますので、地域公共交通の充実に向けて引き続き上田市からの公的支援を賜りますよう強く要望いたします。

(会長) 原案のとおりとします。

イ 地域予算の拡充と決定システムの構築について(事務局より原案の説明)

塩田地域では、75歳以上の高齢者を対象とした「困りごと」アンケート調査を、自治会連合会の協力のもと実施しました。調査結果では、高齢化に伴う体力の低下から、家の周囲の雪かきや除草、布団干しなどの手助けや話し相手の必要性を訴える声が多数ありました。他には、公共交通の不便な地域にあっては、買物や通院に不便を感じるという意見もありました。

地域では、買物や病院などへの送迎ボランティアによる、地域で解決しようとする機運が少しずつではありますが高まってきている実態もあります。

地域内分権の確立に向けた第4ステージの展開では、地域の自主性や主体性、創造性を高めて地域力が発揮される姿にあるとしています。行政は、地域課題を地域住民と共有して、共に考え解決していく体制を整えて、住民参加と協働のまちづくりを進めるとしており、地域内分権に資するために地域予算の拡充と決定システムが必要であるとしています。

地域内分権の推進にあたりましては、地域振興事業基金の積極的な活用や、地域の裁量で活用できる地域振興対策事業費の拡充など、各地域の個性を活かして実情に応じた主体的なまちづくり活動が、地域自治センターを中心に展開できるように、早急な地域予算の拡充と決定システムの構築を強く要望いたします。

(会長) 原案のとおりとします。

(3) その他

ア 都市計画道路「吉田富士山線」について

(委員) 将来の平井寺トンネルの無料化を考えると、県道上田丸子線の交通量が増加することが考えられ、都市計画道路「吉田富士山線」の早期開通が望まれる。市が主体的に動けない中何とかならないものか。

(事務局) 別途土木課と協議したい。

イ 地域協議会としての総括

(委員) 協議会に参加して、地域の課題などについて理解を深めることができ感謝している。ただ、東塩田保育園の事故のことが残念であった。

(委員) 地域のことについて協議することができてよかった。

(委員) 協議会では、地域のことについて協議するので、毎年現役の自治会長が委員になればよいと思う。

(委員) 地域の課題について、住民にずれがあると思う。「困りごと」アンケート調査の結果については公表しても良いものか。

(委員) 協議会は、地方議会と理解した。最初は理解が足りず、地域の課題が分からなかったので、専門委員会を増やすことが必要と思う。

(委員) 協議会は、委員の選考が難しく住民に認知されることが課題である。この間の資料の処分はどうしたものか。

(委員) 地域の動きや地域性について、皆が考えていることがすばらしいと思う。今後については、地域リーダーの発掘や人材育成を望む。

(委員) 自宅には、遊休荒廃農地がたくさんあるので活用してもらいたい。

(委員) 自分は、団体代表の委員でありながら団体の意見が言えなかったが、人間的に成長できてよかった。

(委員) 自分も同様であり、団体推薦の委員として責任を感じた。活動により高齢者に目が向くようになったが、若い人にも目を向けるべきと思う。

(委員) 4年活動してきたが、札所めぐりを通じて夢を持っていきたい。

(会長) 3期6年やらせていただいたが、人材に恵まれた協議会であったと思う。今後も地域のことについて、特に高齢者や若年層のことについて関わっていきたい。

#### 4 その他(当面に日程)

市立産婦人科病院竣工記念講演会	3月24日(土)	15:00	ひとまちげんき・健康プラザうえだ
意見書提出	3月27日(火)	10:00	市役所

#### 5 閉会

\* 会議概要は原則として公開します。会議終了後、1週間以内に行政改革推進室へ提出してください。

\* 非公開及び一部非公開としたものについては、その理由を記載してください。